

お知らせ



三年「漢字の学習2」(P.74・75)での「逐一」の読み方について現在お使いいただいている「国語3」の「漢字の学習2」には次のような設問がございませう。

- 3 次の――線の語は、読み方を間違えやすい。
 () ()内のどちらの読み方が正しいだろう。
 (1) カメラは戦禍の様子を逐一写し出して
 いた。
 () ()ちくいち・ちくいち

右の設問について、学習指導書では、「ちくいち」を正解としております。これは、「公用文の書き表し方の基準」(文化庁)などでは、「ちくいち」という読み方が示されており、中学生には現代語として定着していると見られる「ちくいち」という読み方で教えるのが妥当ではないか、という判断に基づいたためです。しかし、「ちくいち」という読み方も誤りではありません。右のような設問では、「ちくいち」という読み方が誤りであるとの誤解を生じさせてしまうおそれがございます。配慮に欠けた課題を設定しましたことをお詫び申し上げますとともに、「指導の際にはこの点を留意いただきますよう、お願い申し上げます。

「訂正」についてお願い

平成17年度の教科書では、平成16年度版から次の箇所を訂正しております。「指導の際には、留意くださいますようお願い申し上げます。

学年	ページ	行	平成16年度	平成17年度
一年	176	上段 8・12	幕末から明治以後、欧米などの外国と日本との交わりが深くなり、それにもなって、多くの外国の言葉が日本語に取り入れられるようになった。これらの言葉を外来語という。	室町末期から西欧諸国と日本との交流が生まれ、それにもなって、外国の言葉が日本語に取り入れられるようになった。これらの言葉を外来語という。外来語は、幕末から明治以後に急増した。
257	3段目	2	ドイツ貨幣の単位。	当時のドイツ貨幣の単位。

広報課便り



今号の特集では、平成18年度版教科書を生徒の視点から分析してご紹介いたしました。座談会では、紙面には紹介しきれないほどさまざまな話題が出ました。その中で共通していたのは、編集の根底に、「生徒への信頼・期待」があるということではないかと思ひます。

次号でも引き続き、18年度版教科書について特集いたします。どんな力が身につく教科書なのか、具体的にご紹介する予定です。どうぞご期待ください。